



QRコードを読み取り、令和元年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。



のもと たかゆき  
**野本 貴之** 議員  
(芙蓉)

## 通級指導教室の充実と発達障がい支援拡充！

**問** 市内の小・中学校の通級指導教室に通う児童の人数や把握など状況を伺う。

**教育長** 全部で102人。この他に通級指導教室の指導が必要と思う人数は35人。自校通級と他校通級の児童の割合は約45%と約55%。保護者の送迎の問題で通級指導できない事例は4件把握。中学校の通級指導教室について新設していきたいと考えており、県に要望している。

**問** 端的に療育支援について専門的な指導や教えてくれる情報を持っているのはどこか。

**部長** 医療の観点では市立病院に療育を専門に診られる医師がいる。また今後事業者向けに専門的に相談ができるような制度も考えている。

## 読みやすい公文書や広報のためにユニバーサルデザイン (UD) の視点を！

**問** 市の公文書や広報物の作成時にUDの観点はされているのか。

**部長** 広報ふじのみやでUDフォントを使用するなど配慮して作成。高齢者、視覚弱者等の方への対応は部門ごとに個別に行っている状況。できる範囲の配慮について改善が進むよう、指針等を作成するなど各課への呼びかけを行う。

**部長** 指針というような形で総務部、保健福祉部、企画部と一緒に全庁に向けて、また市民にも同様に共有できるような形でやりたい。

**問** 公文書等を管理する行政課がUDの観点を取り入れることでより強力に推進できるのでは。

**部長** 議員の言うとおり、公用文の作り方は行政課文書法規で統一したルールをつくっている。市民の方、読み手の方を考えた公用文の作り方を各部門と連携しながら、庁内統一したルールを再度通知するように指示した。

ユニバーサルデザインフォント(ゴシック体)  
↓UDフォントを使ったゴシック体  
ユニバーサルデザインフォント(UDゴシック体)



わたなべ よしまさ  
**渡辺 佳正** 議員  
(日本共産党議員団)

## 市長としてあらゆる判断基準の軸に憲法を据えるべき

**問** 道徳の大切さを伝えるのに、国会で全会一致で否定された「天皇主権」の教育勅語を、なぜ「今の世に通じる名言」だとして引き合いに出すのか。

**市長** たまたま教育勅語にいいことが書いてあるからで、天皇の言うとおりに聞けとは言っていない。

**所感** 教育勅語について心を痛めている人に、「たまたま」という言葉で説明がつくのか。

**問** 市長は過去の一般質問への答弁でも、「厳しさに耐えられる子どもを育てるという観点から、貧しくても、あまりてこ入れしなくてもいいのではないかと思う部分もある(平成28年2月定例会)」という発言や「離婚したひとり親に対し

て、行政が面倒をみるのは当たり前だと思ったらとんでもない間違い(令和元年6月定例会)」などの重大な発言をした。これらの発言は、教育の機会均等や幸福追求権を定めた憲法に反するので、謝罪・撤回すべきと考えるが。

**市長** ひとり親の子どもへの支援をしなくてもいいという趣旨の発言はしていない。大事にしっかりと見ていかなければいけないと述べている。

**問** 就学援助の申請や離婚届の提出などで市役所の窓口に来た市民に、そんなことを言ったらどうなるのか。「あまりてこ入れしなくてもいいと思う部分もある」などと発言したことを「言ってない」というのは虚偽答弁になる。間違いを訂正すべき。

**市長** そんな発言をしてないのに、発言したというのは心外だ。

**所感** 市長は9月定例会で釈明したが、法的根拠も示さずに自分の発言を正当化したという点で、市長の資格が問われる問題だと考える。